

キャラクター名 中島 敦	プレイヤー名
-----------------	--------

シンドローム	キュマイラ ハヌマーン	ワークス	UGNエージェントA	カヴァー	探偵
		年齢	27	性別	男性
オプション					
覚醒	憤怒	衝動	闘争	初期侵食率	33 %
出自	義理の両親	経験	記憶喪失	邂逅	家族

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	37
肉体	4	1	3			8	行動値	3
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	3
精神	1	0	0			1	戦闘移動	8
社会	2	0	0			2	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			R C	1		交渉		
回避	1		知覚			意志	2		調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
思い出の一品	
コネ: UGN幹部	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
野獣本能	P	N		
中島 白胡	P 庇護	N 疎外感		
義理の両親	P 誠意	N 隔意		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト:	2							
効果:								
完全獣化	1							
効果:								
破壊の爪	1							
効果:								
一閃	1							
効果:								
音速攻撃	3							
効果:								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

モデル: 文ストの中島敦 性格: 文ストの中島敦とほぼ一緒

小学校入学前の記憶を覚えてない。  
特に本当の両親の記憶を失っている。  
記憶が無くなった原因は、とあるレネゲイド事件に両親と共に巻き込まれてしまったためである。  
その本当の両親も、同じく記憶を断片的に失っており、その記憶は「中島敦に関する全ての記憶」でありその影響で敦のことを息子だと認識することが出来なくなっている。  
その後、そのことを知った伯父夫婦に引き取られて生活するようになる。

彼が10歳になった頃、戸籍上の従妹にあたる白胡が生まれ、彼は義理の両親に引きつられて白胡に会いに行くことになった。  
白胡を見た瞬間、大きな衝撃が走り、実際に触ってみると「この子は僕と血の繋がった本当の妹だ」と確信し、守るようになっていく。  
(この時、白胡を通して本当の両親について感づきますが、彼もまた、本当の両親を両親だと認識出来てない。知識として知っているだけになっている。)

彼が15歳の高校生、白胡が5歳の幼稚園の時に、親戚らと集まって過ごしていた際、UGNとFHの抗争に巻き込まれてしまった。  
白胡は、無差別に放たれたFHの攻撃に当たって大きな怪我を負ってしまい、それが原因で白胡は覚醒、身体が白虎に変化し、白胡が大きな怪我を負うのを間近で見た彼は、怒りで目の前が真っ白に染まり覚醒、白虎の前に立ち、白虎に変わった白胡を守ろうとした。  
その後、無事にUGNが勝ち、親戚らは記憶処理をするが、白胡が白虎に変わった人ならざる恐怖が心の奥底に刻まれているせいか、それ以降、白胡が疎まれるようになってしまった。  
白胡はオーヴァードに覚醒したせいか記憶処理をするべきか否かで判断に迷っていたUGNに、彼は、白胡を守るだけの力が欲しいと願い、UGNに入るかわりに白胡に記憶処理をしてくれと頼んだ。  
しかし、オーヴァードに覚醒すると同時に白胡にはもう一人の『彼』が生まれていて、今までの経緯、戦闘の記憶を白胡の中から封じていた。  
『彼』は、今の自分が白胡本人ではないと告げた上で、白胡を守るために白胡にレネゲイドについて、話さないで、白胡だけに記憶処理をしてくれと『彼』は頼